

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業経営	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者		使用教材	農業経営(実教)				
学習目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を育成する。						
学習方法	○地域の農業経営などの身近な事例を学習して、マネジメント及びマーケティングについて体系的、系統的に学習する。 ○農業経営の課題の探究に自分の意志や判断に基づき取り組み、経営の発展に関する課題解決に役立つ学習を行う。 ○農業経営のグローバル化や法人化、六次産業化について考えるとともに、農業の振興や社会貢献に協働的に取り組む学習を行う。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技術	農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	農業経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を解決する力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点		単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思		
前期中間	序章 「農業経営」を学ぶにあたって 農業経営とプロジェクト学習 農業経営におけるプロジェクト学習 第1章 農業の動向と農業経営 1節 日本と世界の農業 2節 農業経営の動向 3節 食料消費の動向と社会経済環境 4節 食料・農業・農村政策と関係法規	地域農業の経営事例や統計資料などを用いて、地域や日本および世界の農業の動向、並びに農業経営の形態について学習し、農業経営の仕組みや課題について理解させる。 農業経営とマーケティングの分野に関心を持たせる。 環境保全型農業や有機農産物の生産の動向についても理解させる。 食料の世界的動向を理解させるとともに、それが環境問題や消費の安全問題とのかかわりで、供給の制限要因となっていることを理解させる。 日本の農業経営の特徴と、外国とを比べて特徴を理解させる。 農業・農村には、どのような役割が期待されているかを考え、今後の農業の進むべき方向について理解を深めさせる。	○	○	(知) 農業経営に関するプロジェクト学習について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 (思) 農業経営に関するプロジェクト学習に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 (態) 農業経営に関するプロジェクト学習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
前期末	第2章 農業のマネジメント 1節 農業マネジメント 2節 生産のマネジメント 3節 組織のマネジメント 4節 会計によるマネジメント 5節 リスクのマネジメント	収益と費用の概念を正確に把握させるとともに、農業経営の収益目標が経営のかたちによってどのように異なるかを理解させる。 経営が、土地・労働・資本という生産の三要素の組み合わせにより成り立っていることを理解させる。 農産物流通の変化について理解させ、改善の方向や、マーケティングの重要性が高まる社会環境の変化について理解させる。 農業経営には、市場以外にも、地域や農協、さらには農政などの制度といった社会環境が影響する。これらにどう対応するかは農業経営の大きな課題であることを理解させる。	○	○	(知) 農業経営の管理と運営に関する基礎的な知識をもとに、経営改善のあり方とその手法について理解している。 (思) 農業経営の社会経済環境との関連を考慮して判断し、適切に表現している。 (態) 農業経営の管理と具体的な運営について興味・関心をもち、その実状について探究しようとしている。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
後期中間	第3章 農業のマーケティング 1節 農業マーケティングの概要 2節 農業のマーケティング戦略 3節 農産物のブランド化	経営診断の目的と手段についての基礎を理解させる。 農業経営における診断指標が、何を診断するための基準として用いられているかを理解する。 経営設計とはどういう内容のものであるか理解させる。	○	○	(知) マーケティングの基礎的な知識を身につけ、実際に活用している。 (思) マーケティングの基礎的な知識と技術をもとに、経営において合理的に判断し、その過程を適切に表現している。 (態) 農業経営情報の収集と活用について、興味・関心をもって意欲的に探究しようとしている。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
後期末	第4章 農業経営のマーケティング活動 1節 市場調査と環境分析 2節 市場調査・環境分析の進め方 3節 農業経営の設計と診断	農業経営におけるプロジェクト学習の進め方を理解させる。 地域で農業経営改善に取り組む活動への参画を通して、または生徒自らの事業企画を通して、農業経営プロジェクトを実践させる。	○	○	(知) プロジェクトの成果と活用について理解している。 (思) プロジェクト活動の実践を通し、課題の解決を目指して思考を深め、農業経営の設計と経営管理を的確に判断し、マネジメント能力をもって経営管理の改善ができるよう、適切に表現している。 (態) プロジェクトの実践を通し、農業経営に関する諸課題に関心をもち、農業経営の設計と管理に意欲的、主体的に取り組む、経営管理の改善について探究しようとしている。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査